

令和 6 年度 大学院第一種奨学金 特に優れた業績による返還免除 申請要領（米沢キャンパス用）

1. 申請書類

①業績優秀者返還免除申請書（様式 1） （2 部）

- ・大学ホームページからダウンロードし、申請者本人がパソコンにて作成し、
A4 両面印刷（長辺綴じ）すること。
【注意】短編綴じで提出した場合、再提出していただきます。
- ・申請書 2 部のうち 1 部に、右上余白へ「写し」と鉛筆書きすること。
- ・対象となる業績は、現在の大学院第一種奨学金貸与期間中に挙げたもの。
- ・資料番号は、各項目番号（1～10）に対応した番号とし、ひとつの項目番号で複数の資料がある場合は、枝番号を付すこと。
（例：項目番号 4 の資料が 1 つの場合→4、
項目番号 7 の資料が 3 つの場合→7-1、7-2、7-3）
- ・項目に該当する業績がない場合でも、その項目及び記入欄は削除しないこと。
ただし、記入欄の行（スペース）を詰めることは可。

- ・米沢キャンパス担当窓口へ、別途メールにて業績優秀者返還免除申請書（様式 1）の電子ファイル（エクセル）を添付し提出すること。
◆e-mail : yu-kougakusei@jm.kj.yamagata-u.ac.jp
（メール本文には、学生番号、氏名、所属研究科名を記載してください。）

②業績を証明する書類 （写し 2 部）

- ・各資料の右上余白に、申請書類①「業績優秀者返還免除申請書」の資料番号と同じ資料番号を記載すること（ボールペン・鉛筆いずれも可）。
- ・著作や作品などの現物の提出は不要。コピーや写真等評価されたことがわかる資料（本人が確認できる雑誌の掲載部分や賞状の写し等）を添付すること。
- ・「学位論文その他の研究論文」の『学位論文』の証明書類は、表紙と目次を提出。『その他研究論文』の証明書類は、論文全体の写しではなく、申請者名（著者名）・論文タイトル・学術雑誌名及び発行日」等が分かる部分の写し等と論文内容の概要（1, 2 枚程度）を提出すること。
- ・「授業科目の成績」に該当する場合は、現在、在籍する課程の成績証明書。
- ・TA、RA 等の補助業務は、労働条件通知書。
- ・特許を証明する書類は、特許登録済、特許出願中、実用新案登録済及び実用新案出願中の区分がわかるもの。出願番号、出願日、特許番号実用新案番号、登録日等の記載があるもの。団体での出願の場合は、申請者名が確認できるもの。
- ・ボランティアに係る業績を証明する書類は、申請者本人が参加したことが分かる書類（参加者名簿など）
- ・書類は、ホチキス留めしないこと。
- ・証明書類の入手は、発行にかかる日数を考慮し、余裕を持って行うこと。
- ・（参考）日本学生支援機構の通知内容に記載がある必要項目と工学部が求める必要項目には若干の差異があるため、上記及び工学部 HP の「【例】提出書類」等を確認し、書類の準備を行うこと。

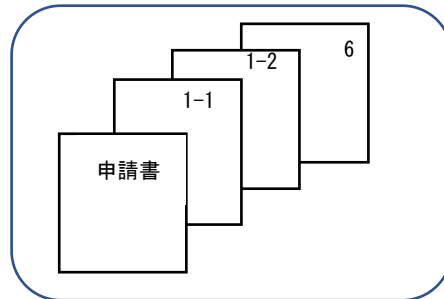
※3～4 ページに、様式ごとに記載が必要な項目をまとめたものを添付していますので併せてご確認ください。

2. 申請方法

上記 1. 申請書類を、学生サポートセンター①窓口へ提出してください。

申請書類：申請書類①②を 1 部ずつ順に並べたもの 2 部

(イメージ) ↓このように順番に並べたものを 2 セット提出。



申請期間：令和 7 年 1 月 31 日（金）～2 月 14 日（金）17:00 《必着》

提出期限を過ぎた場合、受け付け致しません。

提出先：学生サポートセンター①窓口

3. 返還免除者への通知時期

返還免除者に決定した場合、日本学生支援機構から本人への通知が、令和 7 年 7 月下旬に送付される予定です。不採用の場合は、学生支援担当から連絡（メール）します。

なお、本苑の通知は、令和 7 年 6 月末時点で日本学生支援機構に登録されている住所に送付されます。

4. 繰上返還に係る注意事項

返還免除を申請する場合、認定結果が判明する前に、全額繰上返還または一部繰上返還の申込みをしないようにしてください。（日本学生支援機構 HP 参照）

(参考)

業績を証明する書類に記載が必要な内容(日本学生支援機構の通知内容)

表【資料の必要項目及びページ数】

業績の種類	最大 ページ数	細目	必要項目 (○の項目は必須項目)	典型的な資料	よくある不備
1. 学位論文 その他研究論文	4	学位論文	○申請者の姓名(姓のみは不可)	・学位論文の表紙及び 冒頭(書き出し)のページ	・論文内容の 概要が添付されて いない
			○論文タイトル		
			○論文内容の概要(下記のいずれかを含む)		
			・本文の書き出しの部分 ・要約		
		研究論文	○申請者の姓名(姓のみは不可)	・論文の最初のページ 及び学術雑誌の表紙・ 目次	・学術雑誌等 名、発行年が 確認できない
			○論文タイトル		
			○発表年(月日はなくても可)		
			○論文内容の概要(下記のいずれかを含む)		
			・本文の書き出しの部分 ・要約		
			【査読付きの場合のみ必要】		
			○学術雑誌等名		
			○学術雑誌等発行年(月日はなくても可)		
		学会での発表	○申請者の姓名(姓のみは不可)	・学会のプログラムの 表紙とタイムテーブル および表彰状	・発表年、表彰・ 受賞等が 確認できない
			○題目		
			○会議名		
			○発表年(月日はなくても可)		
			【表彰・受賞がある場合のみ必要】		
			○表彰・受賞等(下記のいずれかを含む)		
			・賞の名前(優秀賞等) ・順位 ・その他優秀であった旨 ・奨学金・外部資金を獲得した旨		

業績の種類	最大 ページ数	細目	必要項目 (○の項目は必須項目)	典型的な資料	よくある不備
1. 学位論文 その他研究論文	4	日本学術振興会特別研究員に採用、又は、民間財団等が公募している競争的資金を獲得	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○年度(月日は無くても可) ○下記のいずれか ・日本学術振興会特別研究員採用の旨 ・獲得した競争的資金の名称	・特別研究員審査結果通知書	・競争的資金獲得情報が確認できない
2. 大学院設置基準16条第1項に定める特定の課題についての研究の成果	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○研究の成果(下記のいずれかを含む) ・成果物自体 ・審査・試験に合格したことが分かるもの	・論文及び合格した旨が確認できる証明書	・資料の添付がない ・修士課程以外の学生が申請している
3. 大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○試験及び審査の結果(下記のいずれか) ・成果物自体 ・審査・試験に合格したことがわかるもの	・作品及び合格した旨が確認できる証明書	・資料の添付がない ・修士課程以外の学生が申請している
4. 著書、データベースその他の著作物 (第一号、及び第二号に掲げるものを除く)	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○著書、データベース等のタイトル ○下記のいずれか ・申請者が執筆、作成した文章・データの一部 ・申請者が執筆、作成した文章・データの要約 ○発行年(月日は無くても可)	・著書の表紙と奥付及び申請者が執筆した本文のページ ・データ集及びデータ集が掲載されているサイトの画面	・専攻分野との関連が確認できない ・発行年が確認できない ・組織名・団体名しか記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない。

業績の種類	最大 ページ数	細目	必要項目 (○の項目は必須項目)	典型的な資料	よくある不備
5. (専攻分野に関連した) 発明	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○特許等の出願番号 ○特許等の出願日あるいは登録日 ○特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号	・出願中の場合、特許願 ・登録済の場合、特許証	・資料の添付がない ・組織名・団体名しか記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない。
6. (専攻分野に関連した) 授業科目の成績	2	—	○申請者の姓名(姓のみは不可)。 ○成績の詳細(下記のいずれかを含む)。ただし、学内成績に関する資料は上記1点目あるいは2点目のみ提出可能) ・各授業の評価(A～F、優など) ・授業成績が全体の上位 X%であること ・外部試験に合格したことが分かるもの ・外部試験の得点が分かるもの ○年度(月日は無くても可)	・所属する大学の成績証明書	・資料の添付がない
7. (専攻分野に関連した) 研究又は教育に係る補助業務の実績	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○研究プロジェクト名あるいは授業名(専攻分野との関連が確認できる程度) ○年度(月日は無くても可)	・勤務状況報告書	・専攻分野との関連が確認できない
8. (専攻分野に関連した) 音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○発表会名 ○年度(月日は無くても可) ○成績(下記のいずれかを含む) ・賞の名前 ・順位 ・優秀であった旨	・発表会のプログラム及び表彰状	・成績が確認できない ・専攻分野との関連が確認できない

業績の種類	最大 ページ数	細目	必要項目 (○の項目は必須項目)	典型的な資料	よくある不備
9. (専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○競技会名 ○年度(月日は無くても可) ○成績(下記のいずれかを含む) ・賞の名前 ・順位 ・優秀であった旨	・競技会のプログラム及び表彰状	・申請者名が確認できない ・専攻分野との関連が確認できない
10. (専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	3	—	○申請者の姓名(姓のみは不可) ○イベント等の名称(専攻分野との関連が確認できる程度) ○年度(月日は無くても可)	イベントのプログラム及び参加を依頼されたことが分かるメールの文面	・申請者が活動において実際に行った内容が読み取れない ・組織名・団体名しか記載がなく、申請者本人の氏名が確認できない
11. その他機構が定める業績	—	—	内容に関する証明書は不要です。		